

議 員 全 員 協 議 会

日 時	平成31年 4月17日（水） 閉会中	8時57分 開会 10時30分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16番 太田佳晴 副議長 15番 鈴木千津子	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	7番 大井俊彦	8番 名波喜久 9番 植田博巳
	10番 村田博英	11番 良知義廣 12番 澤田隆弘
	13番 中野康子	14番 大石和央
欠席議員		
事 務 局	局長 植田 勝 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 北原 大輔	
説 明 員	市長、副市長、教育長、理事兼企画政策部長、総務部長、政策監 建設部長、観光課長、新拠点整備室長、観光振興係長	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（太田佳晴君）

それでは皆さんおはようございます。きょうは少し肌寒い天気となりましたけれども、すっかり春らしくなりまして、間もなく一番茶が始まり、この地域が一番活気づく時期となります。

そういった中で、新しい年号も令和ということで決まり、きょうが平成最後の定例の全員協議会となります。気持ちを新たに、またよろしくお願いします。

2 市長報告

○議長（太田佳晴君）

それでは、ただいまから始めますけれども、最初に市長報告ですけれども、きょう、件数のほうが非常に案件が多くなっております。ただ、内容的には行事の報告が多いものですから、全て市長の報告が終わった後で、一括して質疑を受けたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは市長、お願いします。

○市長（杉本基久雄君）

おはようございます。ただいま議長からお話ございましたように、本日は特にお諮りするような案件というものはございませんので、行政報告的な報告事項ということで何点か報告をさせていただきますと思います。

それでは、まず最初に5月1日から新元号がスタートするわけでありますが、令和を祝って、より多くの新婚さんに婚姻届を出していただくように、5月1日につきましては、通常の日直の窓口ではなくて、正規の窓口を開けまして、そして専従の職員2名を置きまして、届出の専用窓口をつくるという形で行います。

そして、お祝いの品はこれまでと同様、お茶とフィルターインボトルを出します。そして、それに加えて記念証の発行、そして記念写真の撮影。これは田沼意次侯のパネルを少し用意させていただいて、生誕300年のパネルとともに写真撮影をさせていただく。そして、市特産のガーベラの花束をプレゼントするというようなことを予定しております。

令和を祝うとともに、多くのカップルの皆さんに婚姻届を出していただければありがたいなというものでございます。

そして、一番茶の状況でございますが、志太榛原地区の生育調査でございますが、これはJAが4月10に行ったものでありますが、やぶきたは前年比二日から七日のおくれで、平均して四日おくれの状況というように聞いております。管内の丸尾原工場、丸御の中原工場につきましては、17日に手摘みが始まると、きょうですね。前年は9日ということですから、八日ほど遅いというようなことであります。

そして、牧之原管内については18日から23日ごろから生産を開始する茶工場が多いというふう
に聞いております。

そして、18日木曜日には、鹿児島茶市場、そして静岡幹旋所ですね、川連さんです。そして、
初取引、これは静岡茶市場ですが、新茶の初取引が19日にあるということですので、明日、明後
日、私もこの初取引に出席をさせていただきたいと思っております。

そして、4月24日から私と副市長、そして産業経済部長でハイナンの常務の4班体制で市内の
新茶工場や茶商さんを激励訪問する予定でございます。

次に、牧之原市ビジネスサポートデスク、まきサポの開設ということですが、4月11日
に牧之原市ビジネスサポートデスク、まきサポの開設を前に、旧片浜小学校の体育館におきまし
て、関係者58名が参加をして開設セレモニーを開催させていただきました。議員の皆様にもご参
加をいただきまして、感謝を申し上げます。

詳細につきましては記載のとおりでございますので、ごらんをいただきたいと思います。

そして、物産センターが市直営となるということでありまして、4月15日にリニューアルオー
プンをさせていただきました。店舗の照明や商品の陳列台などを改善して明るい雰囲気づくりを
行ったところでございます。商品も非常に見やすいというようなことで、好評をいただきました。

当日は、9時の開店前から列をつくって待っているお客さんがいて、その後もお昼ごろまで途
切れることなく、たくさんのお客さんに来店していただいたということでもあります。

今後、さらに内容を充実させていきたいというふうに考えております。

そして次に、国土交通省の港湾局長が牧之原市の港湾海岸の視察に訪れていただきました。こ
れは4月13日の土曜日ですが、これまで何回となく私も国に、港湾海岸、いわゆる榛原港
と、そして相良港、合計6キロほどあるんですが、この海岸の防潮堤というのが、一番最後に市
民が住んでいる居住率の一番高いところであるというようなことから、早期に港湾海岸の防潮堤
の整備を促進してほしいという要望を国に挙げていたところ、現地に下司局長がお見えになっ
ていただきました。そして、その状況を現地で再度お伝えさせていただいて、局長からは、地元の
声をしっかり受けとめたということで、国土交通省として着実に対応したいというような地元の
熱意も感じたということでもあります。

今年度は、昨年度の港湾関係の、防潮堤も含めた予算1.6倍、この地域につけられたというこ
ともお話をいただきました。今後も補正等の対応も考えて、早期に完了に向けて進めていきたい
というお答えをいただきました。

そして、次に統合型リゾート施設（IR）の説明会ということでございますが、3月27日に相
良地区、そして一昨日、榛原の文化センターで行いました。相良地区には140名、そして榛原地
区では120名の参加をいただいたところでもあります。

今回の説明は、統合型リゾート（IR）とは何だというようなことについてご理解をいただく
ということで開催したところでもあります。市からは、市のこれまでの取り組み、あるいは状況の
報告、そして招致委員会の皆さんからも、招致委員会としてのこれまでの取り組みについて説明

をさせていただいた後、有限責任監査法人トーマツの仁木一彦氏から I R 制度の概要、あるいは I R の導入の効果と内容等々について説明をさせていただきました。

そして、質疑においては治安やギャンブル依存症あるいは I R の運営、経済性、市の取り組みの進め方などについて多くの質問、意見をいただいたところであります。この状況につきましては、ホームページでアップしてお知らせをさせていただきたいと思っております。

そして、今後についてはいろんなご意見を今いただいておりますので、今後についての説明あるいは市民との対話、あるいは今後の県との協議についても、しっかりとご意見を踏まえた上で進めてまいりたいと思っております。

そして次に、高台開発の推進協議会ということですが、現在、相良牧之原インターチェンジ北側地区の開発につきましては、現在準備組合とともに大和ハウス工業株式会社と土地区画整理事業の実施に向けた土地利用計画や事業計画の検討、事業費の精査等を進めているところであります。

現在、よりよいまちづくりに向け、将来の次世代産業等も踏まえた、そういったまちづくりも考えているところでありますが、市外企業の皆さん、関係企業から異業種間のアイデアは情報、そしてそういった皆さんから幅広く意見を得ることを目的として、推進協議会を立ち上げてこれから月一程度開催をする中で、次世代産業あるいはこの高台の最も活用、こんな活用がいいだろうというようなアドバイスとか提案もいただきながら進めていくということであります。

本日午後、この協議会が立ち上がるということですので、きょう、私も午後の北川先生の講演を聞きたいわけですが、二つ重なってしまいましたので、私はこの推進協議会のほうに出席をさせていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

そして、田沼意次候生誕300年記念事業につきましては、資料添付をさせていただきますので、ごらんをいただければと思います。

そして、最後ですが、その他のところでありますが、市職員をかたる不審な電話が今現在、多発をしているということであります。先日新聞にも掲載されましたが、4月12日に市内の83歳の女性がキャッシュカード3枚をだまし取られたということでありますが、これについては市職員を名乗る電話で、いわゆる還付金があるというようなことでお宅に銀行が伺うというようなことで、人が変わって銀行が伺ってだまし取るというようなことで、120万円がだまし取られたというようなことがございました。

議員の皆様方におかれましても、今後、いろんなところでご挨拶いただく機会があろうかと思いますが、ぜひともそういった注意喚起のご挨拶を一言入れていただけるとありがたいなというふうに思っております。

私としても、そういったことでしっかりと周知をさせていただきたいと思えますし、広報等においてもしっかりとそういった注意喚起をさせていただきたいと思っております。

私からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（太田佳晴君）

ただいま市長から報告が終わりました。市長報告、また総括的な質疑がありましたらお願いします。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

ちょっと細かいんですけど、簡単に答えていただければいいので、お聞かせください。

まず一つ、届出専用窓口の職員2名さんは、今アウトソーシングでやっていたいでいる方がそのまま2名対応されるのか、正規職員が2名対応されるのか、お聞かせください。

また、I R説明会について、私もお話は伺っているんですが、今後の進め方、今説明が終わりましたよね。前回3月8日の全協でも皆さんから合意形成という話が出ました。また、良知議員からは、ぎりぎりのぎりになってからの議会へ諮ることはやめてくれということはおっしゃっていました。

そういった意味で、今後、今考えてらっしゃるスキーム、タイムスケジュール的なもの、夏までということは、前は夏も幅が広いと言っていたんですが、まだ幅が広い中で進めているのかどうか、お聞かせください。

あともう一つ、この件に関して市民参加手続、市民参加条例はどういうふうに当てはめていくのかも聞かせください。

あと、高台開発推進協議会のほう、これは実施主体は大和ハウスさんになるのか、市になるのか。また、ここに未来若者プロジェクトはどういうふうに絡んでいくのか、お聞かせください。

あと、田沼意次関連で、ラッピングの図をここに付けていただいているんですが、全体ではないんですよね。全体のラッピングと、こういう部分的なラッピングだと、予算の違いがあると思うんですが、全体だと、この今の部分ラッピングとどれぐらいコストが違うのか。

あと、田沼意次侯大河ドラマ化推進事業、これだけ非常に具体的な記述がないんですけど、これは実際どういうふうに具体化していくのか、以上をお聞かせください。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

まず1点目の婚姻届の受付窓口であります、これは正規の職員が、市の職員が対応するということであります。これは、榛原、相良両庁舎行います。

そして、I Rの関係でございますが、タイムスケジュールあるいは今後の開催方法ということでございますが、やはり2回開催をさせていただきましたけれども、非常に人数が多いという中で、皆さんからなかなか多くの意見をいただきづらいということと、一部の意見に偏るのかなというところもあるものですから、もう少し小規模のほうがいいかなというふうに私思っています。そういう中で、今後はもっともっと若い人たちに参加いただけるようなことも意見をいただきましたので、そういった皆さん、あるいは各自治会等から、自治会単位でというようなご要望であ

れば、そういった場も設けさせていただきたいというふうに思っておりますし、市民参加条例につきましても、市民参加条例でいう、二つ、三つ以上というのがございますので、しっかり市民参加条例に基づいた対応もしてまいりたいというふうに思っております。

そして、高台開発につきましては市として協議会を立ち上げる。そして市内企業の皆さん、スズキさんあるいは小糸さんとか矢崎さんとか、TDKさんとか、市内の大手企業の皆さん等々に参画いただくということであります。

そして、未来若者プロジェクト、これもまさに私は若者の雇用、そして移住定住、若者のにぎわいの場の創出というようなことで、高台は未来若者プロジェクトと密接な連携があるというふうに思っております。そうした意味でも、若い皆さんの意見をしっかりと反映させていきたいというふうに考えております。

田沼の関係につきましては、担当がおりますので、担当のほうから説明をさせていただきます。よろしく申し上げます。

○議長（太田佳晴君）

観光振興係長。

○観光振興係長（浅井 篤君）

観光課振興係の係長の浅井といいます。

私のほうから、田沼のほうのラッピングについて回答させていただきます。一応、しずてつバスさんのほうの2台をラッピングすることになっています。今、この資料についているこの形、2面やる形で、1台40万円、これはラッピング代、それから広告料含めて1台40万円ということで作らせていただいております。

もしこれを全体のラッピングという形になりますと、ラッピングだけで120万円を超えるということを言われています。それにプラス広告料が入りますので、そうすると1年間で大体200万円を超える形になるかと思えます。そういったことで、しずてつバスさんからは見積りをとらせていただいております。ということで、一応40万円を2台作らせていただきます。

私からは以上です。

○議長（太田佳晴君）

観光課長。

○観光課長（八木康仁君）

では、続きまして大河ドラマ化の推進の事業ということなんですけども、こちらのほうは、まだ事細かく年間を通してどのように動かしていくかということは、まだ決まっておりません。ただ、昨年からプレのイベントから含めまして、元のNHKの局長様、会長様、そちらのほうにもお二人の方にも、東京にいらっしゃる、こちらの牧之原を支援してくださったりとか、田沼意次候のことについて詳しい方とか、直接アプローチをしていただきながら、こちらの資料とかそういうもので協力体制を、ぜひしていただきたいということをお話しております。

ですので、まだここをどうしていくかという部分は、まだ決まっていはいないんですけれども、

なるべく今の委員を中心にして、ことしないし来年以降も、大河ドラマというのが1年で決まるものではなくて、3年、4年というようなところもありますので、そういう部分で継続して考えていければと考えています。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

まず、大河ドラマのほうから。大河ドラマ、わかりました。ラッピングバスも費用対効果を考えて、できれば前面のほうがいいのかなとは思ったんですが、予算を、もう承認しているものから、その枠の中でやっていただくということで、予算から逆算したというのは、よくわかりました。

大河ドラマなんですけど、3年前にやった真田丸ってあったんですけど、真田丸の署名をしているんですよね、それはもう10年前ぐらいに署名をしたんですよ。その署名の出所が信州上田、長野県ですよね、長野県の署名活動が静岡県牧之原市まで来ていたということは、やはりすごい地道な草の根運動があって、約10年前ぐらいですよ。それで3年前に真田丸なので、やっぱり署名運動というものもやっていかないと、もちろん知識人や著名人の根回しも大事だとは思いますが、そういったことも、一つアイデアとして考えてほしいなと思います。やっぱり数は力だなと思います。

高台の件なんですけど、わかりました。一つ懸念するのが、若い方の個人がお持ちのアイデアを搾取する場になってしまっているといけないなと思うんですね。もちろん企業さんが自分の営利も含めて、いろいろなアイデアを出される分にはいいと思うんですが、一個人がこういったことを考えているんだといって、それをぱっととっちゃって、特許なんてないので、ぱっとそれを取り上げちゃって、それを金もうけの算段にしちゃって、その個人には何もリターンがないというのもまずいと思うので、そういった意味で、そういったことも一つ考慮していただければなと思います。

あと、I Rについて小規模でという話だったんですが、もちろん小規模で議論を深めるということは大事です。ただ一方で、私本当にこれ、すぐくお電話いただいているんですよ。もう尋常じゃない数のお電話をすぐくいただいいて、賛否両論さまざまです。すごい声援的なご意見が多いんですね。ただ、中間のグラデーションがあるんですよね、どちらかというとな賛成、どちらかというとな反対、よくわからないと。そういう層も含めれば、小規模で議論を深めるのと同時に、やはり以前も言わせていただいた市域全体の民意、総意というものは把握しないといけないのかなと思います。

私個人的には、可能かどうかかわからないんですけど、最終的には住民投票を一つ検討すべきではないかなと思っているぐらいではあるんですけどね。これだけご意見をいただくのであればと。そういったことも含めて、今後、小規模というお話も出ましたし、若者相手に小規模でやっていただくのも大事だとは思いますが、一方で多く広く、広く市民の皆さんからのご意見も聞くと

いうことは、決して外してはならないプロセスだと思います。その辺はどう考えられるか、お願いします。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

現在、住民投票というところまでは考えてはおりませんが、ただ、今おっしゃるように、私のところにもいろんな形で、大変多くの賛成あるいは反対あるいはよくまだわからんというようなご意見がございます。

前回も2回やらせていただいたんですが、我々が伝えようとしていることが、まだまだ伝わっていないなというところも私は正直感じております。そうしたことで、やはりそういった機会をこれからも継続しながら努めていくことが必要であると思っています。

それからもう一つは、最終的には県が国へ挙げる、その権限を持っているのは県なんです。ですから、県のご指導もいただきながら、最終的に県がこういう形ではまずいよという話もあろうかと思っておりますので、その辺についても県のお考えも含めて、やっていく必要があろう。牧之原市だけじゃなくて、やはり県が申請母体となるということになれば、対象は県民というふうにもなってしまうので、そういったところについても、我々も初めてのことでありますので、しっかりとそういった県との連携といいますか、県のご意見も賜りながら、今後進め方についても、しっかりと検討させていただきたいというふうに思っております。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

これが、じっくり腰をおちつけて、腰をおろして喧々諤々できる案件では、どうやらなさそうというのは前回にもありました。時間がない中で、ここで練りに練った後、県に上げるのではなくて、県と並行でやっていきたいという旨も議事録には載っていましたので、そういった意味では、今、進め方ということをざっくり今説明していただいたんですけど、説明が十分ではない、これからも引き続き対話の場を持っていくというのも、結が決まっている話なのかなとは思ってはいるんですが、その辺はどういうふうに意識されているのか。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

結が決まっているということは事実でございますし、この夏に国の方針が示されるということでもあります。そしてそこから、恐らく全国の自治体から、県あるいは政令市からの申請を国が受付をするというような流れになってくると思うんですね。ですから、そういった流れでいくと夏ごろまでが、私は勝負じゃないかなと思っていますし、それまでに、大変ではありますが汗を流していくことが必要じゃないかなと思っています。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

これ最後にします。議会の同意というのを、どういう形で求めてくるかというのは、この間もアイデアの中では幾つか出していただいたんですが、その議会の同意というのは、どのタイミングをざっくり考えてらっしゃいますか。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

先ほど申しましたように、県が国へ申請する段階に市の同意を求めてくるようになるというふうに認識をしているわけですが、その段階において議決を、条例を制定して議決を求めることもできるということもございますので、これについては議会の皆さんと協議をさせていただく中で、どういう方法をとるかというのは、今後検討させていただきたいと思ひますし、いずれにしましても、県が全く申請しないということになれば、そういった手続を踏む必要が逆に必要なくなってしまうわけです。ですから、そういった意味で、県の考えも確認しながら、市として議会の内々といいますか、議決を経ない中でも議会の皆さんの、ある程度一定のご理解をいただいたとかいうようなことが、いつまでに必要なのかということについても、今後いわゆる申請者となる県の考え方も確認させてもらいながら進めていくことになろうかなというふうに思っております。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

じゃあ、具体的に県から返答が来そうなのはいつぐらいを思ひて、要するに例えば具体、6月議会を一つのいいタイミングと考えているのかどうか。県が実施主体だからというのは、すごいわかるんですね。ただ、県がずっと返答を先伸ばしにする可能性も無きにしも非ずだと思うんですよ。いつまでに回答をいただけますかといひて言ひてないと思うんですね。そういった意味では、県の回答がおりてくるのは具体的にどれぐらいを、ある程度見込んでらっしゃるのか。いざ、議決する場合は定例会で諮るのか、臨時会もやむなしと思ひていらっしゃるのかどうか。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今、現状では事務レベルで県のほうにいろいろ考え方も、市の状況は県にも、担当部局にさせていただいていますが、今の現状ですと6月議会に云々という状況では、とても無理だなというふうに思ひております。

早くても9月議会になろうかというふうに思ひております。それも一つには、県が例えば調査費を取るというようなことのとときに、調査費を取るための補正予算案をお願いするというような

ことが、まず第一歩じゃないかなと思っています。それを、もう県が補正予算も上げないというようなことであれば、我々も当然市単独でというわけにはいきませんので、そういった、これから協議といいますか、話し合いを検討させていただきたいというのが、今の現状であります。

ということで、連休明けくらいには、私も少し県のほうに出むいてお考えを聞きたいなというふうに思っているところであります。市としてこうだからこうしてくださいとかということではなくて、県として今の現状、県に今の市の状況を伝える中で、県の考え方も確認をしたい、そういうことであります。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質疑はありますか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

確認をさせてください。高台開発推進協議会でございますけれども、本日推進協議会を開催するということですが、地元の準備組合を含め、そしてスズキ、矢崎さんなどを異業種の形で入れて、そして当然大和ハウスさんも入るということでよろしいのかというのが1点。

それから、田沼意次侯の生誕記念事業ですが、商品開発の事業におきまして、独自の商品開発に取り組んで商品化して販売するということですが、どういった団体に、このような商品開発をするというのか、その辺を教えてください。

ワイロ最中とかというと、ちょっとイメージが余りにも悪いものだから、その辺をどのような形で考えてらっしゃるのか、ちょっと教えてください。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

高台開発につきましては、市が、先ほど申しましたように主催といいますか、市がつくるということでありまして、これに当然、今、事業予定者である大和ハウス工業、そして市内の大手企業さん等にも入っていただいて、行っていくということであります。

田沼に関しては、商品開発については担当課長からお願いいたします。

○議長（太田佳晴君）

観光課長。

○観光課長（八木康仁君）

現在のところ、まずワイロ最中という部分が、なかなか観光の部分でいけば素晴らしいというのもおかしいですけど、商品名的にはいろいろなところで取り上げてくれる題材なんですけれども、やはり今回は田沼意次侯の顕彰という部分で、少し新しい形の商品を開発していけばいいのではないかという形でありますので、今、お菓子屋さんとその辺が今、中心となって試食会を含め動いている状態になっております。

それとあと、商工会の女性部のほうが、地元の塩を中心とした塩あめのほうを今作成して、既

に少し商品開発化もしている最中なんですけれども、もう少し味つけをしていきたいというような形で考えております。

それとあと、お菓子組合のほうにも打診をしてありまして、ぜひ、そのときの特別の商品、限定の商品ではなくて、今後も牧之原市に来たときに必ず商品があるような形というような、継続的なお菓子を考えていただきたいという形でお話をさせていただいております。

○議長（太田佳晴君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

推進協議会のほうは聞きそびれて申しわけなかったですけど、準備組合も当然入るということによろしいですね。理解で。

それと、田沼の商品ですけど、いつか平田寺さんでやったときに、お菓子を出してくださった。あれもなかなか考えた商品だったなというふうに思いますので、アイデアをたくさん出していて、お菓子に限らず、何かあればいいかなというふうに思いました。よろしくお願いします。

○議長（太田佳晴君）

高台開発推進協議会についてですけど、もう少し詳細な、やはり参加企業等わかっていますから、その資料をぜひとも出してもらいたいと思います。この2行だけではとても議会に対する説明にはならないと思いますので。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

資料を配架させていただきます。出席者、協議会の参加者でございますが、市内企業、後で配架しますのであれですが、口頭で今お話をさせていただきます。株式会社伊藤園、そしてNOK、小糸製作所、三和シャッター、そしてスズキ株式会社、TDK株式会社、東洋製罐株式会社、日機装株式会社、日本コルマー株式会社、ミクニパーティック、矢崎部品というような企業であります。

そして、開発事業者としては大和ハウス工業、そして清水建設あるいは富士総合コンサルタントというようなこと。そして、インフラ企業としては静岡ガス株式会社、そして中部電力株式会社。交通事業者としては静岡鉄道株式会社、そして富士山静岡空港株式会社。そして、金融機関としては静岡銀行、そして島田信用金庫。行政機関としては牧之原市インターチェンジ北側の土地区画整理準備組合、そしてコンサルタントで入っていただいている、株式会社シードというような皆さんに参加いただいているということであります。

資料を出させていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（太田佳晴君）

ほかに質問はありますか。

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

一つだけ伺います。今の推進協議会、高台開発の。この件ですけれども、先日、少しずつ話は伺っているんですけれども、先日アンケートを、これは牧之原地区だけですけれども、アンケートをしたんですけれども、そういったものも今言った大手企業だけでなく、そういった意見もアンケートの結果も反映されるのかどうか。それから、アンケートがいつごろ集計して提示されるのか、その辺、伺いしたいと思いますが。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

担当がいますので、今言ったアンケートによる対応等についてのスケジュールについては担当のほうから説明をさせていただきます。

そして、今回のこの協議会につきましては、やはりこれから20年、30年、あるいは50年先を満たしたときに、ものづくりが恐らく変わってくるだろうと。自動車にしてもガソリンエンジンからEVになる、あるいは自動運転になる。そういったような次世代の産業が出てくるだろうと。そうしたときに、市内企業は自動車関連が非常に多いというようなこともございますし、それから地域特産のお茶の日本一の伊藤園の工場もある。そういった地域の産業、そして次世代のものづくりの産業、そうしたような、次世代開発センターじゃないんですけれども、そういったことについても活用できないかというような、どちらかというと最先端のモデルのまちというんですか、そういったことにも使えないかというようなことを、協議していただく場というふうにも考えております。

そういう中に、市内の中小企業の皆さんにも情報提供を今後させていただいて、地域の皆さんにも参画できるようなまちづくりができればいいなというふうに思っております。

○議長（太田佳晴君）

新拠点整備室長。

○新拠点整備室長（吉添智宏君）

新拠点整備室の室長の吉添です。

先ほどのアンケートの件でございますが、30年度の委託事業ということで、2月に開始をさせていただきまして、区民の方々の60%強の方々からアンケートをいただきました。その結果を集計いたしまして、今後なんですけれども、その内容につきまして、まず我々の室の中で情報共有、それから準備組合と協議をして、ここの中にどういったものが必要かというようなものもあぶり出しをさせていただきます。

今後、その後、市の中でも公共施設マネジメントがございますので、我々の高台のところだけほしいということではなく、市内全域を考えて、また公共マネジメントをしていかなければいけないものですから、その後、庁舎内でまず検討会をさせていただいて、そしてだんだんとどんなものを公共施設を配置していくかとか、それからどんなものを市民の方が要求したものに対して答

えを返していくかと、そういったことをやっていきたいと思っております。

ちなみに、アンケートの結果でございますけれども、まだ速報ではございますが、やはり皆様方の、中心地からちょっと離れているということもございまして、医療施設がほしいというようなことと、それとやはりにぎわいの場所がほしいということで、商業施設の、たまたま今回商業施設をつくりたいというようなことも、にぎわいをつくりたいというようなこともやっていますので、そういったものも、要望というものが非常に多かったというアンケート結果になっております。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

それでは、推進協議会でそのアンケート、最も地元の市民の声というか、そういったことがあるんですけども、推進協議会でもそういったのは議題というか、そういうことになるんでしょうか。

○議長（太田佳晴君）

新拠点整備室長。

○新拠点整備室長（吉添智宏君）

推進協議会では、主に内容としましては、新しいまちづくりをつくるということで、まちづくりの方針を少し考えていきたいということで、公共施設もその中に含まれるということもございますけれども、主には新しいまちづくり、どういったこと、次世代のものをどう取り組んでいくか、その取り組みに対して、地元の企業様がどういった形で連携をさせていただくか、そういったところを主に話をしていきます。

そういった中で、1カ月から2カ月に1回程度、開催をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

ほかにありますか。

大石議員。

○14番（大石和央君）

2点ですけれども、お聞きします。まず、先ほどありましたけれども、I Rについてでありますけれども、ちょっと確認を含めましてお聞きをいたします。県との話し合い、5月になって、来月からというようなことでもありますけれども、その前に重要なことはやっぱり、市民の意向というか、市民合意が必要かというふうに思うんです。県との話し合いをすることによって、なし崩し的にそうしたところをどんどん進めていくということであってはならないということで申し上げているんですけれども、やはりきちんと市民合意を取りつけるということが必要だというふ

うに思います。まず、それをお聞きしたいということでもあります。

2点目に、勝間田公園のつつじ祭りがありまして、去年はできなかった、ことはできたわけなんですけれども、コバノミツバツツジ、我々はみやまつつつじとっていますけれども、そうした維持管理、植生の管理について、少しお願いというか、どう考えているかということをやっとお聞きしたいんですけれども、どうも育成が少し悪いということでもあります。やはりここはやっぱ、専門家を入れまして、せっかくあります2,000本のツツジですので、これは本当に観光の名所にもなると。当然、県立公園の一角でありますので、観光の対象として十分いいと思います。そうした関係で、このツツジの管理を、専門家に見てもらって、それから具体的にもっと樹勢のいいものにして、美しい花をとることが必要かというふうに思いますけれども、そのあたりのところをお聞きしたいということです。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

大石議員のおっしゃるとおり、I Rに関しては市民合意というものは私も重要だというふうに思っております。そうした中で、やはり後になってまた県からこの宿題、あの宿題と出されても間に合わないというような状況もございますので、県の意見も聞きながらということでもありますので、県がどんどん進めていくということではないというふうに私は思っています。

今後、県が取り扱うにおいて、いろんな宿題があろうかと思います。そういったものを、事前に掴む中でやらなければならない、作業をやっていかなきゃいかんのかなというふうに思っております。

それから勝間田公園のミヤマツツジであります。私も年々といいますか、去年は雨で行けなかったんですが、ことし行ったときに感じたのは、やはり花が咲いて、その後、葉をつけるんですが、花が咲かずに葉になっちゃっているんですね。だから、私もこれってちょっとまずいよねというふうに思って、桜なんかも病気になると花が咲かないんですよ。ですから、そういった意味で、ちょうど担当もいましたので、私もまさにそれを感じたので、とにかく樹木医を頼んで、ちょっと現状を見てもらう。今の花が咲かずに葉っぱになっちゃっているところをまず見ていただいて、それがどういう原因なのか。区長さんのお話ですと、ことし暖冬だったので、逆に春が来たのがわからないとか、よく休眠打破というのですが、そういった状況なのかということも含めて考えたいと思うんですが、早速樹木医さんを来て見ていただくようにということで、その場で私も指示をさせていただいたところでございます。

○議長（太田佳晴君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

ツツジのことはわかりました。

I Rについてですけれども、市民合意を取りつけるに当たりまして、説明会が終わったという

ことで報告がありまして、そのあたりの現状よくわかりますけれども、いずれにしても市がやられてきた説明会というものは、誘致委員会のメンバー、トーマツもそうなんですけれども、そうした形の説明員という形でお願いしてやっているわけで、決して中立というような立場ではないわけなんですね。

私は前回も言いましたけれども、やはり合意形成をきちんと取りつけるには、それぞれの多様な意見があると思います。ですので、一方的な誘致する側の意見ではなくて、また反対側の意見もきちんと市が伝えていくということが必要だと思うので、これから小規模的なことで進めていきたいというふうに言っておりますけれども、その中に、ぜひ対等に議論できるような、そのようなことをしていく必要があろうかというふうに思いますので、ぜひ住民合意形成というものを、本当にきちんとやっていただきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

いろんな、今回も先ほど申しましたように、ご意見いただいております。今後の進め方について、しっかりと内部でまた詰めさせていただいた中で、ご報告をさせていただきながら開催をしていきたいというふうに思いますので、現状今、まだ何もこの後決まっていないのが現状ですので、その辺をいろんなご意見を踏まえた上で開催方法を考えていきたいと思っております。

○議長（太田佳晴君）

ほかにございますか。

植田議員。

○9番（植田博巳君）

高台開発でちょっとお聞きしたいんですけれども、たしかことしの6月には計画の絵というか、パスができるということで以前お伺いしているんですけれども、今までの進捗状況というのが報告聞いてないものですから、今どういう状況で、大和ハウスさんとかテナントの関係とか動いているのか、ちょっと教えていただきたいなと思います。

○議長（太田佳晴君）

新拠点整備室長。

○新拠点整備室長（吉添智宏君）

高台の進捗状況でございますが、先ほど市長のほうからも少し触れていただきましたが、現在、大和ハウス工業株式会社と土地区画整理事業に向けた準備ということで、事業費の精査であるとか、それからどんな配置にするとか、それから地元の合意形成、そういったものをどういうふうにやっていくか、今後の進め方、そういったものをやっているところでございますが、以前にこちらの総務建設委員会でご報告させていただいた内容から、現在ちょっと進んでおりません。それも少し大和ハウス工業と、それから準備組合との間の中で、先ほど言ったように事業費の精査

であるとか、そういったものに対して少し時間がかかっております。その関係で、少し皆様にも進捗がないということでご報告をさせていただく機会がなかったものですから、大変申しわけなかったんですけども、現在としましては、その精査を上げている最中ということでございます。

6月ごろにパースといいますか、いわゆる事業計画をつくるということで進めておりますけれども、それも若干おくれる可能性もありますけれども、現在スケジュールとしましては、6月に向けて地元の組合と一緒に、今やっているところでございます。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

植田議員。

○9番（植田博巳君）

この推進協議会の協議した内容、企業さんがいっぱい入っているんでしょうけれども、それと北側開発の、当初は大規模ショッピングモールを中心としてという話だったんだけど、その辺が若干変更が生じてくるというような予測をしいいんでしょうか。

○議長（太田佳晴君）

新拠点整備室長。

○新拠点整備室長（吉添智宏君）

今回の協議会につきましては、区画整理事業で、今大規模商業施設というお話もいただきましたけれども、そういった上物も建てて、そういったまちづくりをした後、その上に未来のまちづくりをどういうふうにしていくかというところの網を、さらにその上にかけていくと。その網の部分を地元の皆様方、企業の皆様方と何か連携してできないかと。例えば自動運行であるとか、例えば自動配送であるとか、キャッシュレスであるとか、そういった未来に起こるであろうようなものを将来的にこういうところに取り込むことができないかどうかと。そういったことによって、例えば商業施設であれば、ほかの商業施設との差別化をするというようなことになる。そうすると、企業誘致とか、それから来ていただくお客さんもふえるというようなところの相乗効果を狙うというようなことになりますので、今までの計画を変えるということではなくて、その計画の上に、さらに載せていくというようなことでお考えいただければと思います。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

ほかにありますか。

村田議員。

○10番（村田博英君）

ちょっと確認ですが、国土交通省の港湾局長視察についてですが、これは4月13日土曜日なんですけど、こういうのはいつ決まったんですか。それで、これは現場視察なので区長さんとか地元の人も出たのではないかと、推察されますが、地元の議員が一人もいないんじゃないかという声が上がっているんですね。これ、決まったときに連絡をいただきたいんですよね。特に、

こう言っちゃなんですが選挙も終わりましたので、何かとありますので、ナーバスになっているわけですよ。その辺はいかがですか。

○議長（太田佳晴君）

私のほうに実はちょっと日にちはわからないんですけども、こういったことで話がありました。それで、今回聞きましたら、榛原海岸、相良海岸と、かなり広範囲にわたるものですから、それで今回は正副議長と、所管である総務建設委員会の正副委員長ということで、そういうことで私のほうの判断でお願いしました。

村田議員。

○10番（村田博英君）

ぜひ今後は、その辺の考慮をぜひしていただきたいと思います。広いとかというのはあると思いますが、こういうことがあるんだというのを、ぜひ連絡をお願いしたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

大井議員。

○7番（大井俊彦君）

今の件ですけれども、私もきのう静波区の総会がありました。その中で、何でいないんだということで、かなり批判されました。内々には聞いていたにもかかわらず正式な話は一切ないんですよ。何で地元の議員がいないんだということで、ひどく言われました。だから、この辺はやっぱり範囲の問題じゃなくして、地元の議員には、ぜひそういう話は優先的にしてもらいたいと思います。

○議長（太田佳晴君）

ほかにありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それではないようですので、以上にします。

3 議長・関係議員・委員会報告 （1） 会議等の結果

○議長（太田佳晴君）

それでは、3番の議長・関係議員・委員会報告に移ります。

私のほうから、関係する出席しましたものについて報告をさせていただきます。

3月22日の統合型リゾート（IR）勉強会については、これは議会独自で行った勉強会ですけれども、中立的な立場で講師のお話をということで、今回は防災関係または法律的な見地からの勉強会ということでした。東京大学の田島教授、防災について。弁護士の石田先生からは法律的な見地で行いました。

先ほど、質問また市長の報告にもありましたように、今後議会に対してどのような判断が求められたということですから、またそのときには慎重に議論して対応をお願いしたいと思います。

す。

3月24日の牧之原市消防団第10分団地頭方北詰所落成式、これは正副議長、地元の原口議員とともに出席。地元では、関係地区区長、前区長、消防団関係者が出席しました。場所は、牧之原市、御前崎市の焼却場があります笠名バイパス473インターの南側になります。

3月25日、原子力発電所環境安全協議会が行われました。静岡市の中島屋ホテルにて行われましたけれども、平成30年の浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果、また平成30年の新聞折込がありますけれども、原子力だより、この発行状況について議事として原案どおり承認して、その後、31年度の原子力発電所の周辺環境の測定計画と、浜岡原子力発電所の現況等の報告が中部電力から報告としてありました。

4月1日に、総合健康福祉センターリニューアルオープンの式典がありまして、これは、さざんかのふれあいホールにて、川崎放課後児童クラブの児童が多数出席しまして、また関係者も集まる中で、牧之原市の福祉の拠点としてリニューアルしたさざんかのオープンをお祝いしました。出席しました議員はお疲れさまでした。

その後ですけれども、午後、教職員の着任式がありました。平成31年度の新たに牧之原市の教職員として着任しました43名の着任式が相良庁舎4階の会議室で行われまして、議会からは牧之原市菊川市学校組合の議長の中野議員とともに2名で出席させていただきました。

4月4日、榛原総合病院の組合議会臨時会が行われまして、平成32年4月1日から10年間、42年3月31日までの医療法人沖縄徳洲会に指定管理者を指定することということと、合わせて10年間の地域医療交付金について年間3億6,000万円の債務負担行為ができることの議案を、2案とも全員賛成で可決をいたしました。

4月7日は、静岡県議会議員選挙が行われまして、元市議会議員の大石健司氏が当選をされました。

4月7日、同じく同日ですけれども、牧之原市消防団の辞令交付式が行われまして、3月31日付で消防団の本部員5名、分団員51名の退団。新入隊員として43名の辞令交付式が相良中学校の体育館で行われました。

4月8日の自治行政連絡会ですけれども、新年度初めての自治行政連絡会に、本日行われます北川先生の講演会の出席依頼、また5月17日から6月1日まで、6会場で行われます議会報告会の協力を依頼してまいりました。

4月11日には、東海市議会議長会の定期総会が三重県の津市でございました。各県から提出されました意見書4件、また平成30年度の決算と平成31年度の予算関係、提案された議案が全て可決されました。あわせて、勤続永年表彰の表彰が行われましたけれども、当市議会からは大石和央議員が16年の表彰をされました。賞状はまた後日届きますので、よろしくお願いします。

4月13日ですけれども、国交省港湾局長の榛原港視察における意見交換ということで、先ほど報告ありましたように、榛原相良海岸のL1防潮堤の整備促進について、静波海岸に集まりまして、要望書を提出しました。

4月14日は、田沼意次侯のみなとまつり2019ということで、昨年まではさがら湊食堂ということで開催をされておりましたが、ことしは意次侯の冠をつけて規模を拡大しまして、にぎやかに開催をされておりました。

4月16日、昨日ですけれども、4市議会茶業振興情報交換会ということで、掛川市の製造機メーカーのカワサキ機工に掛川市、牧之原市、島田市、菊川市と、この4市の正副議長、また所管の正副委員長が集まりまして、各市のお茶を取り巻く現状について意見交換ということで、第2回を行いましたけれども、今回はカワサキ機工の常務の講話ということで、現状、また問題点の分析等、丁寧な説明をいただきました。

それで、特にカワサキ機工の常務のお話として、常務は全く今の茶況を不況だとは考えていないというようなことのお話ありました。やはり、それは取り組みの姿勢だと思いますけれども、以前の状況とは全く変わっております。その中で、やはりまだまだこの地域では当然リーフ茶、これがかつてのような元気を取り戻したいということで頑張っている部分がまだ強くありますけれども、もう完全に時代が甜茶、抹茶ですよ、それにシフトしているということで、この市場は今後も大きく拡大していくということで、その辺をターゲットにした製造機メーカーとしての機械づくり等をやっているというようなことで、非常に興味深くお話を聞かせていただきました。

以上、私のほうからの報告とします。

続きまして、各委員、お願いします。

中野議員。

○13番（中野康子君）

3月25日に例月現金出納検査がありました。指定管理している保育園1園に対して、金額がやはり大きく出ているものですから、この基準というのはどこで決めているんだろうというような話がちょっと出ました。今後、その報告があるかというふうに思います。

ほかのほうは全て例月現金出納検査、異常はありませんでした。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

村田議員。

○10番（村田博英君）

3月27日に榛原総合病院出納検査がありました。関係帳簿、貯金通帳、証拠書類、照合した結果、過誤のないことを確認しております。

それから、主監事の吉田町から来られている伊藤監事が3月で退任ということになっておりますので、まだ後任が決まっていないということのようですが、確認のほうをまたしてください。とりあえず4月は私がひとりでやったことになっているようです。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

鈴木千津子議員。

○15番（鈴木千津子君）

4月9日ですけれども、志太榛原5市2町会議、この平成30年度の監査を行いました。この5市2町は事務局を含む会合が年4回ありました。そして、各市町での負担金ですけれども、1市1町というか、5万円の負担金になっているそうです。そして、帳簿、預金、残高等を精査した結果、間違いのないことを確認いたしました。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

ほかに。

ちょっと私漏れましたけれども、3月26日、後期高齢者医療広域連合議会の例月現金出納検査がありましたけれども、先月も報告したとおり、毎月これから行われるわけですけれども、全て異常なく検査をさせていただきました。

それと、3月24日の田沼意次侯生誕300年記念講演、これは出られなかったんですけれども、もし報告される方がいたら、お願いします。

大変多くの方が聞きに来たということで聞いております。

それと、4月11日の牧之原市ビジネスサポートデスクまきサポの開設記念セレモニー、これもちょっと出られなかったんですけれども、もし報告があれば、お願いします。

新聞紙上にも掲載されていましてとおりですので、よろしくお願いします。

いいですね、以上で。

3 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会

○議長（太田佳晴君）

それでは、（2）の議会運営委員会に移ります。

議会運営委員会委員長、お願いします。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会です。まず、3月18日ですけれども、議会報告会のチラシということで、自治会連絡会をお願いをしていただきまして、班回覧ということで依頼済ということであります。

そしてまた、チラシとポスター、市内の16施設に配布をいたしました。

そして、次は議会災害対応行動マニュアルについてですけれども、引き続き検討していくということです。

次に4月5日についてでありますけれども、まずは2月定例会の振り返りということで、意見は、連合審査でありますけれども、質疑が多かったんですけれども、質疑ではなくて要望というふうになってしまうということの意見もあったので、それを改めなければいけないというようなこと。それから、若干時間が延びてしまったということもありますので、質疑は簡潔にすべきだというような意見がありました。答弁を含めてですけれども。

そして、一般質問については、必ずルールに従って、発言は議長ということで挙手していただ

いて、それから許可を得て発言をするということを徹底していただきたいということ。

そして、この後の通告についてでありますけれども、これは後から少し報告等含めてしていつて、議運の報告も含めてありましたけれども、その確認の意味で協議的なものをしたいというふうなことでなっていますけれども、そのところでは、きちんとやはり通告書は箇条書き、ただの箇条書きではなくて、要旨をきちんと明記をした上で書いていただきたいということと、傍聴者から、掲示もされていますけれども、厳しい意見があったということ、これを踏まえていただきたいということ等の意見がありました。

次に、議会改革のリハーサル日程ということでありますけれども、別紙にありますように、リハーサルですけれども、リハーサルは第1回目を4月25日午後1時半からということ。それから第2回目を5月9日、協議会終了後ということにしたいと思っておりますので、お願いをいたします。

それから、データ、スライドを作成する、パワーポイントをつくるに当たりましてのデータですけれども、注意事項のところも踏まえてちょっと見ていただきたいと思っておりますけれども、パワーポイントの作成ですね。こうした基本的な仕様というものを統一させるということで決めましたので、お願いをしたいというふうに思います。

そして、そのデータ入稿ですけれども、5月15日午前中までに作成をしてもらうということで、製本が5月17日、全協終了後ということで、資料作成ということになりますので、お願いをいたします。

次に、改元に伴う会議の称呼についてですけれども、これも資料がありますので、少し見ていただきたいと思っております。

資料には幾つか形態があります。今、現在牧之原市議会においては、平成31年第1回市議会2月定例会というような形でなっています。それで、改元に伴いまして、これをちょっと称呼を変えていくということが必要だというふうなことで、議運では、①、②、③、④と下のところにありますけれども、各議会が定めているところでもありますけれども、議運ではこの4番目の、今後は新元号、つまり令和元年6月定例会というような形で表記をしていくということでどうかということになりました。

それで、これまでの、先ほども言いましたけれども、平成何年第1回とか第2回とかという、こうした名称は使わないということで、例えば6月定例会ということであるならば、令和元年6月定例会というようなことで、今後はこのような称呼でいくということでお願いをしたいというふうに思います。

次に、一般質問のホームページ掲載用通告書についてということでありますけれども、この件につきましては、今現在、一般質問ホームページ掲載用通告というものを、通告書とは別に出していただいているわけでもありますけれども、事務局のほうから、通告書とホームページ上のものが同時に出てくれば事務的にしやすいのですが、どうもホームページ上の通告のほうがおくれてしまっていることになるので、通告書をそのまま、全文をこれからのホームページにも掲載をしていったらどうかという提案がありました。

協議の結果、出された通告書をそのままホームページ上にアップしていくという方法にさせていただきますので、あわせて、通告のあり方を含めて協議事項というふうになってはいますが、ここでもこのことを徹底していきたいというふうに思いますので、よろしくお願いをしたいというふうに思います。

それから次ですけれども、陳情書の取り扱いですけれども、郵送によるものとして、辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情というのがありました。これは申し合わせによって、資料配付ということにしましたので、お願いをいたします。

その他になりますけれども、31年度議会スケジュールということでお手元に配付をさせていただきますので、後から確認をしていただきたいと思います。

それから、今年度の事務局の事務担当ということで、事務分担という表がお手元にいつていると思いますので、ご確認をお願いいたします。

そして、北川先生がきょう講演ということでありますから、よろしくお願いしたいと思いますけれども。

最後に、市議会のクールビズということで、市も実施をしていますので、それに合わせまして5月1日から10月31日ということで、クールビズということでお願いをしたいと思います。

以上、報告を終わります。

3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長(太田佳晴君)

次に、総務建設委員会委員長、報告をお願いします。

○8番(名波喜久君)

総務建設委員会です。4月9日ですけれども、先の市民会議、その振り返りを行いました。以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

○議長(太田佳晴君)

文教厚生委員会委員長、お願いします。

○7番(大井俊彦君)

今、次期市民会議の開催に向けて調整中でございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長(太田佳晴君)

次に、議会広報特別委員会委員長、お願いします。

○6番（藤野 守君）

4月3日に第53号の発行に向け、編集をしているところであります。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 （6） 議会改革特別委員会

○議長（太田佳晴君）

次に、議会改革特別委員会委員長、お願いします。

○15番（鈴木千津子君）

議会改革特別委員会です。前回皆様にお示ししました、要綱等の改正の、一応原案ができましたので、急で申しわけないんですけれども、明日18日ですけれども、9時からまた皆さんとともに議会改革特別委員会を始めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議長・関係議員・委員会報告 （7） 政策立案推進部会

○議長（太田佳晴君）

次に、政策立案推進部会部会長、お願いします。

○13番（中野康子君）

4月10日に政策立案推進部会ワーキンググループ1とワーキンググループ2の合同で行いました。ワーキンググループ1に関しましては、牧之原市のこども未来を考える条例の策定を目指すワーキンググループでございましたけれども、担当部局との勉強会を経て、学校教育分野、特に授業への介入は避けるべきだと判断し、方向性の転換を行うということで、大きなくくりで青少年健全育成条例のような形になっていくものと思います。

それから、政策立案推進部会のワーキング2でございますけれども、議員報酬等の特例に関する条例案についての検討及び報告が大分でき上がってきましたので、もう少し手を加えて議長に提出し、皆様にまたご報告をさせていただきたいというふうに思っております。

それから、ワーキンググループ1に関しまして、1と2と合同でこれから進めていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（太田佳晴君）

ただいまの各委員会委員長、また部会長の報告について質問があったらお願いします。

大井議員。

○7番（大井俊彦君）

資料の中で、議会報告会役割分担という表があるんですけど、私の名前の字が違っていますので訂正をお願いします。

○議長（太田佳晴君）

訂正のほうはお願いします。

○議長（太田佳晴君）

ほかに。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

質問ではないんですが、ちょっとすみません、お話をさせてください。先ほど、議運の委員長からありました、議会報告会資料作成についての注意事項のところなんです、この、あくまでもこの1から8まである全ては試験的に行いたいと思っていますので、試験的にやっていく中で、恐らく作成していく段階で、不都合、不具合がひょっとしたら出るかもしれません。そういった場合は、またこういった問題があるんだけどというふうに、こちら、北原さんにでも投げかけていただければと思います。

また、7番、スライドの色ということで、こちらも一方的にアイデアとしてまずは決めさせていただきました。このスライドを用意したやつを議会事務局、こちら北原主査のところを用意してございます。なので、資料作成担当の方におかれましては、北原主査にお話をいただければ、そのスライドのもと、テンプレートを渡していただければと思いますので、よろしくお願いします。

恐らく、背景の色等で使いにくいよという話がひょっとしたらあるかもしれません。そういった場合はまた、ちょっと相談ということで対応させていただければと思います。

今回は試験的で、これが確定ではないということだけ、お知らせさせてください。

○議長（太田佳晴君）

ほかにありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それではないようですので、次の協議事項に移ります。

4 協議事項 （1） 一般質問ホームページ掲載用通告書について

○議長（太田佳晴君）

協議事項1として、一般質問ホームページ掲載用通告書について、資料別紙ということになっておりますけれども、これについては先ほど議運の委員長から報告があったとおりでございます。

ただ、今回ホームページ掲載用の一般質問要旨について、要旨の提出がおくれるため、事務局より議運のほうに提案がありました。

基本的には議運のほうで、先ほど議運の委員長が報告したとおり、方向性は確認しておりますけれども、議運の委員長から、改めて全員協議会で全員に確認をとってもらいたいという指示がありましたので、一応協議事項として入れさせてありますけれども、それは先ほど委員長の報告は、皆さんが出したものをそのままということだったんですけれども、あれは基本的には一旦事務局が全部つくり直します。

基本的には皆さん出したものに沿うわけなんですけれども、それをそのままホームページ掲載

用として掲載するという事でよろしいかということの確認をしたいと思います。

それによって、議員の手間も省けるし、その事務局としても統一して議員の皆さんに確認せずにやれるということなんですけど、そういった方向でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（太田佳晴君）

それでは、そういったことに今後はさせていただきます。

議運の委員長。

○14番（大石和央君）

お手元に記載例というのが、再三これは皆さんのところに配付をしておりますけれども、この形態を厳守していただきたいというふうに思います。

これまでですけど、この質問の1、2というところのところが最後に、非常に前文が非常に長くて、質問のところが最後になっていて、非常にわかりにくいものもありますので、これ、ホームページ上で出すということで、市民が全部見ますので、本当に質問の趣旨をきちんとわかる形で書いていただきたいというふうに思いますので、その点をよろしくお願いしたいと思います。

ですので、今あります記載例に沿って、簡潔かつわかりやすいものということをお願いしたいというふうに思いますので、お願いします。

○議長（太田佳晴君）

村田議員。

○10番（村田博英君）

要は、この通告の中身ですけど、質問の要旨というところが長過ぎるということですか。じゃなくて、件名が長い。

○14番（大石和央君）

つまり要旨、背景というところが長くて、質問のところが最後にきて、非常にわかりにくいというものもありますので、要するに当日質問するような文章をそのまま要旨のところに入れ込んでしまうと、非常に長いものになってしまったりして、わかりにくいというものもあるので、その点を配慮していただきたいということです。

○議長（太田佳晴君）

ただいま議運の委員長から報告があったとおり、申し合わせ事項の96、97ページに、今言われたことについて説明があります。それをもう一度、いま一度確認していただいて、要は様式の統一化を図りたいということです。ですので、それぞれ議員個々で考え方、あるものですから、多少この要旨の部分が長くなることもあるかもしれないですけども、基本的に様式をこういう形でやっていただきたいということで、ご理解をお願いしたいと思います。

植田議員。

○ 9 番（植田博巳君）

今の件ですけれども、これはワンペーパーというか、A 4 これ 1 枚で要旨と質問を全部書くということですか。2 枚続けてはまずいよとか、そういう規定はありますか。

○ 議長（太田佳晴君）

基本的にはこれ、2 枚につながっても、様式が統一化されればいいということだと思います。よろしいですか。

藤野議員。

○ 6 番（藤野 守君）

この要旨のところは、大体ここにひな形ありますけれども、5 行前後とか数行ですよ。そういった形でというようなあれでいいですか。捉えていれば。

○ 議長（太田佳晴君）

先ほど言ったように、多少議員によって思いがあるものですから、こういう趣旨で今回の質問をするということで、ちょっと長目になる場合があるかもしれないですけれども、基本的にはこれに沿ってもらいたいということで、お願いします。

それでは、よろしいですね。この件は。

5 その他 （1） 議会事務局職員の歓送迎会

（2） 市幹部職員との懇親会

○ 議長（太田佳晴君）

次に、その他に移ります。2 件ありますけれども、事務局のほうからお願いします。

事務局長。

○ 事務局長（植田 勝君）

その他のところですが、確認の意味でさせていただきました。もう皆様に既にお知らせしてありますが、明日と 25 日、議会事務局職員の歓送迎会と、市幹部職員との懇親会ということで予定をしております。

バスの出発時間等を記載させていただきましたので、集合、出発ということでお願いをしたいというふうに思います。

それともう 1 件、資料はありませんが、本日午後の講演日程について、ここで議員の皆様にお知らせをさせていただきます。

本日ですが、13 時 30 分から史料館で北川先生の基調講演を行います。青森中央学院大学の佐藤淳先生も北川先生と同行ということで聞いております。

先ほど議長のほうから話がありましたが、自治行政連絡会でこの講演については、各地区への区長さんへも呼びかけを行っておりますので、きょうは議員の皆さんだけでなく、各地区からも出ていただけるものというふうに期待をしているところであります。

講演会の時間のほうですが、質疑応答を含めて 15 時までを予定しております。

それで講演会終了後に、これは北川先生からの話なのですが、講演会終了後に、トイレ休憩を挟んでこの4階の大会議室で北川先生が議員の皆さんとの意見交換を行いたいというお話がありました。

全て意見交換も含めて、全て終了を16時を予定しております。進行ぐあいによりまして、多少の時間の変更はあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

それと、議員の皆さんのきょうの史料館の席ですが、今口頭で報告いたします。議員の皆さんの席は、4人の4列掛けとなります。演壇のほうに向かって一番前列右側から議長、その横が副議長、その横が大石和央議員、その横が中野議員、一番最前列がこの4名になります。2列目、議長のうしろが澤田議員、以下、議席番号の古い順に左側のほうに行ってもらいますので、自分の席の確認をお願いしたいと思います。

午後、私いますので、もし席がよくわからないよということでしたら声掛けをいただければ、場所を申し上げたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

質疑応答も含めて、史料館のほうですけど、質疑応答も含めて3時までということなのですが、その後に北川先生とこちらで意見交換をしますよね。そういうことを考えると、史料館での質疑応答は市民の皆さんにある程度譲ったほうがいいのか、そこはそういった縛りなしに、そこでも質疑応答して、こっち側ではさらに専門的な突っ込んだ話をしたほうがいいのか、そのあたりはどういうふうなイメージをされているか、お聞かせください。

○議長（太田佳晴君）

事務局長。

○事務局長（植田 勝君）

この4階大会議室の意見交換は議員の皆さんから北川先生に質疑を行うかどうかというのは、聞いておりません。その情報というのを先方に求めても言ってもらえないものですから、あくまでも意見交換ということだと思います。

時間的にも、3時にむこう終了しますので、1時間半の時間ですから、トイレ休憩を挟んでこっちへ移動してくれば、そんなにたくさんの時間はないんじゃないかというふうに思っています。それも、4時終了というのは事務局のほうから北川先生のほうに言ってあるんですが、北川先生がもしかしたらもうちょっと長くやるよというかもしれないし、そこはちょっとアバウトで言っていますので、どうなるかわからないです。

史料館のほうは、市民の皆さんから質問が出るかどうかもちっとわからないものですから、そこは議員の皆さんが質問してくださっても結構かというふうに思います。

○議長（太田佳晴君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

基本、二次会と言っていいのかわからないですけど、二次会はノーブラントいうことですよね。もし聞きたいことがあれば、とりあえず史料館で聞いちゃうのが一番賢明といえは賢明ということですね。わかりました。

○議長（太田佳晴君）

事務局長。

○事務局長（植田 勝君）

ここでの進行は全て佐藤先生がやるということで、佐藤先生が北川先生に振るのか、そのやり方というのは、ちょっと事務局は入らなくていいというふうに言われているものですから、やり方がこっちはわかっていないという状況です。

以上です。

○議長（太田佳晴君）

史料館については、今、平口議員言われましたけれども、そこはきょうどのくらいの皆さんが来てくれるかというのが全くわからないものですから、ちょっと様子を見ながら、質問がなければまた皆さん、質問していただくし、ちょっとその辺は考慮してお願いします。

それと、きょう皆さんのところに牧之原市議会における議会改革の取り組みということで冊子が配られておりますけれども、今回のご講演のほうは、基本的には牧之原市議会のこういった取り組みについて、ある意味講評も含めて、それで今後牧之原市議会がどういった方向で進んでいけばいいという、一つの指針にしたいということで、今の状況を先生のほうには、これが提出してあります。これに基づいて講評等をしていただけたと思いますので、またそういったことについても質問してもらっても結構だと思います。

それで、本日はすけれども、昼食はこの後とってありませんので、1時半に史料館のほうへ集合するように、よろしくお願ひしたいと思います。

全体で何かありますか。

事務局いいですか。

それでは、以上で全員協議会を終了します。ありがとうございました。

〔午前 10時30分 閉会〕